

【高標高域に生息するヤクシカの行動圏の把握】

1. 実施の目的

平成 30 年度に屋久島の奥岳等の高標高域域に生息するヤクシカに発信機を取り付けており、令和元年度は、1 頭について継続して発信機からのデータを取得し、その個体の行動圏や季節移動について GIS を用いて解析することを目的とした。

2. 実施時期

平成 30 年度発信器装着後、発信機から送信される GPS 情報を衛星経由で取得し解析した。

3. 実施方法

発信機からのデータ取得

本調査で使用した GPS 首輪は、Veltroni 社製 GPS PLUS Collar-2D に適法発信機であるサーキットデザイン社製 LT-01 (142.95MHz) を探索用として付したものである。この GPS 首輪ではイリジウム衛星通信方式を採用し、通信可能な場所にヤクシカが移動したとき、GPS データは衛星を介してサーバーに蓄積して利用することができる。

4. 実施結果

(1) GPS 首輪装着個体の概要

捕獲個体の概要と捕獲地点を表に整理した（表 1）。

捕獲地点の現存植生は、ヤクシマダケ群とヤクシマシャクナゲーミヤマビャクシン群集、ヒメヒサカキースギ群集の境界付近であった（図 1）。

表 1 GPS 首輪装着個体の特徴

個体番号 耳標番号	捕獲日	捕獲地点	性別	年齢	体長 (cm)	体高 (cm)	胸囲 (cm)	後足長(cm)	
								左	右
H30_01_FM オレンジ 71	平成 30 年 11 月 5 日	平石岩屋	雌	1～2 歳	66	52	60	25	25




H30_01_FM

なお、平成 30 年度に別に 1 頭捕獲し（個体名 H30_02_FM）発信機を付けて放獣したが平成 30 年 12 月に死亡を確認した。



図 1 捕獲地点

(2) 行動圏の把握

R2 年度第 1 回ヤクシカ WG では、平成 30 年 11 月から令和 1 年 12 月までの GPS データを整理した。その後、GPS データは、令和 2 年 4 月分のみ取得できた。

首輪のバッテリーは令和 2 年 11 月に切れたため、別に取り付けたビーコンの情報を元に回収作業を行ったが、ビーコンの信号を取得できず回収できなかった。

当該個体は、年間を通じて季節移動を確認できず、捕獲地点の平石付近から宮之浦岳、中島の頭付近で行動していた (図 2、3)。

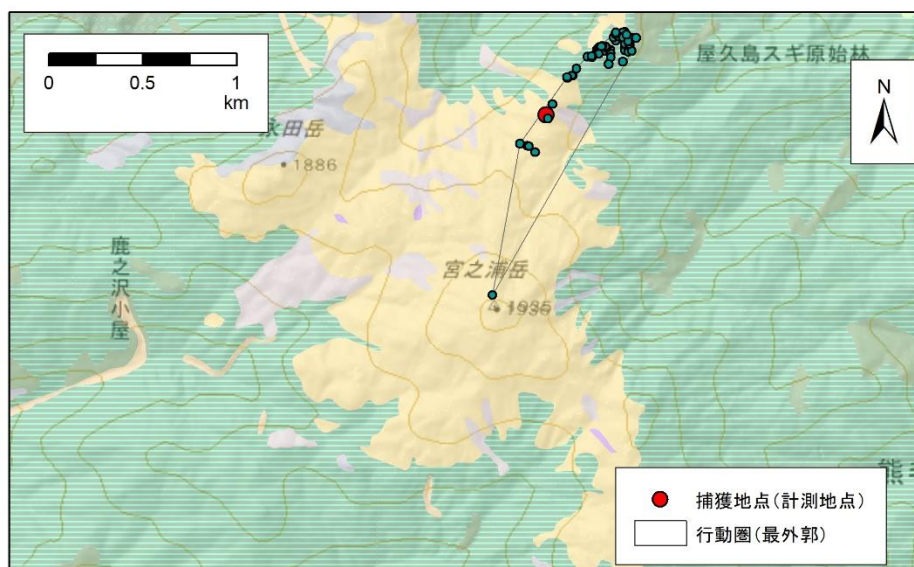


図 2 令和 2 年 4 月行動状況

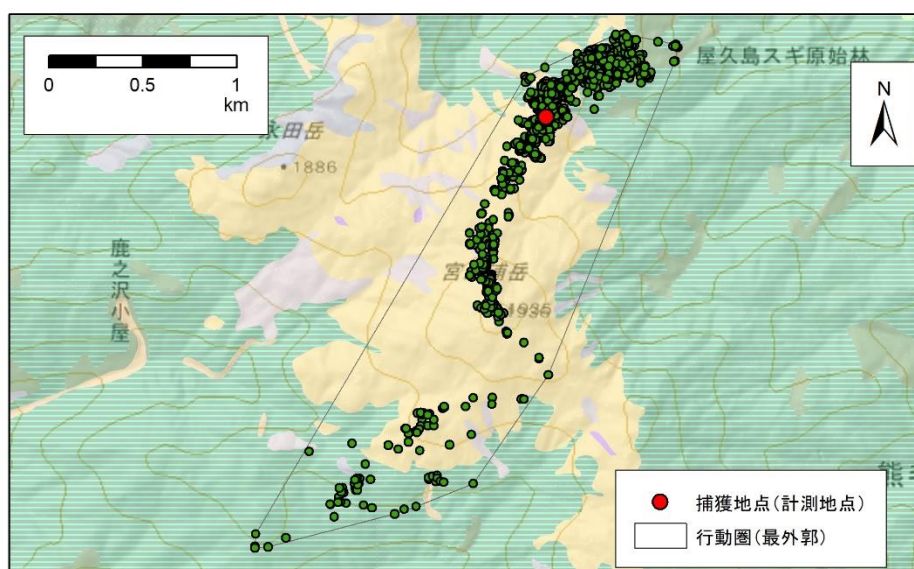


図 3 装着後 (H30 年 11 月) から R2 年 4 月までの行動状況